

法螺貝笛のお手入れ方法

一般的には、笛として使っている間に、吹き口部分や内部にカビが生えてきます。これは仕方のないことです。

カビの繁殖を出来る限り抑えるためには普段のお手入れが大切です。

毎回吹いた後は、濡れタオルなどで吹き口を軽く拭いてください。石膏部分は濡れないようにしてください。そして、吹き口（金具側）を下側にしてホラガイを立てた状態で、一昼夜ほど内部を陰干しにて乾燥させてください。直射日光に当てないこと、熱を加えないこと。

また、月に2～3回、水またはぬるま湯にてホラガイの口から入れて吹き口から出すというような水通しを2～3回してください。後は2日間ほど上述同様にホラガイを立てた状態で陰干ししてください。この時も、直射日光に当てない、熱を加えないこと。

このような手入れをするだけで、カビの繁殖を少なくすることが出来るようです。石膏は水などで劣化してきますので、余り頻繁に水通しはしない方がいいです。月に2～3回程度でいいと皆さんはおっしゃっています。

お酒で法螺貝の内部をお浄めするという方もおられるようですが、これは絶対におやめください。カビの繁殖を活発化させますし、石膏の劣化を早める結果となります。